

振興会だより

あなたの会費でつくられる町の情報紙

八幡校区振興会	
鹿兒島市下荒田四丁目7-11	
会 長	和田 一雄
編 集 総 務 部	
発行責任者	宮崎健二 TEL&FAX 253-6666

『八幡校区コミュニティ協議会』が発足! 89団体、4個人の加入で結成総会

モデル地区

『校区コミュニティ協議会』とは?

コミュニティとは地域の日常の生活を支えあう身近な地域社会のことです。町内会やあいご会をはじめ学校・PTAなど地域のさまざまな団体が力を合わせ、助けあうことで、自主的主体的に校区内の問題の解決や地域活動をすすめるのが『協議会』設立の目的です。原則として小学校区にひとつつくられます。



10月29日(月)夜、八幡校区振興会公民館で60近くの団体や個人が出席して、『八幡校区コミュニティ協議会』の結成集会が開かれ、規約・予算など決めました。

なぜ、いま『協議会』をつくるの?
少子高齢化や核家族化が進み、町内会など校区内各団体のメンバーの高齢化、参加者の減少、役員の手が足りない、など各団体の運営が難しくなっています。
一方、福祉、安心安全など地域の要求はひろがり強まるばかりです。この期待に応えるには、振興会などひとつの団体だけでは限界がありました。どうしても各団体が連携・協力し合うことが必要だからです。

スローガン

笑顔が つながる なご八幡校区

つよい絆で明るく住みよくなります

総会で承認された 役員会

- 会 長 和田 一雄 (八幡校区振興会長)
 - 副 会 長 柿元 秀義 (校区老人クラブ連絡協議会長)
 - 書記会計 峯 敏彦 (医療福祉ネットウーク)
 - 部 会 長 宮崎 健二 今井 嘉彦
 - 山口 俊郎 赤星 貴子
 - 重信 勇司 有村 絹子
 - 監 事 畑中 清和 (天保山中校長)
 - 持 増 重則 (校区公民館運営審議会委員長)
- (在期 平成24年11月1日～平成25年3月31日)

鹿兒島市で2番目の設立

この事業は本年度、3校区のモデル地区を指定してすすまられています。

八幡校区は、喜入の中名につづいて2番目の設立となります。
11月1日には登録証の交付式が市長室で行われ、森博幸市長から八幡校区に登録証が手渡されました。



市長室での登録証交付式 (11月1日)

事務局体制は 次のようになります

月・火・水・金 (曜日)

☆9:00～12:00
『協議会』の仕事を行います。

☆13:00～17:00
『振興会』の仕事を行います。

職員は山口裕美さんの
兼任となります。

6つの部会で活動開始!

『校区コミュニティ協議会』には、6つの部会がおかれます。それぞれ部会長を中心に専門的な調査活動や提言をまとめていきます。それらがまとめられ「八幡校区コミュニティプラン」(校区振興計画) がつくられていきます。

部会名	部会長	主任担当する仕事
まちづくり	宮崎健二	地域課題のまとめ、施策の提言など
安 全	今井嘉彦	防犯防災など校区内の安心安全確保
福 祉	山口俊郎	子育て支援、支えあい・助けあう社会づくり
社 会 教 育	赤星貴子	地域文化の継承、生涯学習など
体 育	重信勇司	健康づくりとスポーツ・レク活動
青少年育成	有村絹子	次代を担う青少年の健全育成

『振興会』との関係は?

八幡校区振興会はあくまでも「町内会」の組織です。今回、これまで振興会と一体化していた「あいご会」「社会福祉協議会」「地域婦人会」などは独立して本来の姿に戻り、協議会で活動します。

振興会の専門部はコミュニティ協議会の各専門部会に加わって、中心的にその活動を支えています。

これまででは専門部が行っていた事業の経費についても、鹿兒島市の補助金が入る協議会が負担するものも多くあります。

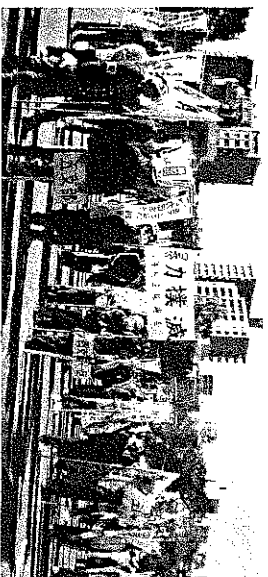
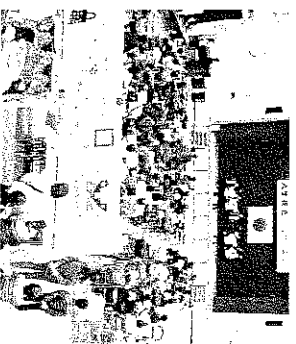
〜ことし秋&初冬の行事から〜

第9回校区すこやかまつり

本年度10年目を迎えた「校区すこやかまつり」。

医療福祉ネットワーク、振興会社会福祉部、校区社協らを中心に結成された実行委員会と校区コミュニケーション協議会の共催でこし第9回大会が行われました。

今回はあいにくの雨もよう。しかし展示発表、健康相談のほか舞台発表で津軽三味線、ギター弾き語りのセミプロらも参加。会場は寒さを吹き飛ばす熱気でした。



第35回校区暴力追放大会

暴力団「小桜一家」本部事務所が下荒田に強行進出、その退去を求めて昭和52年(1977)から始まった八幡校区の「暴力追放大会」。

35回目のこしは11月18日(日)、240人が参加して八幡小学校校庭で開きました。今回から大会スローガンに「いじめの根絶」を掲げ、大会後パレードをして、甲斐河畔での中央大会に参列しました。



第34回校区体育祭

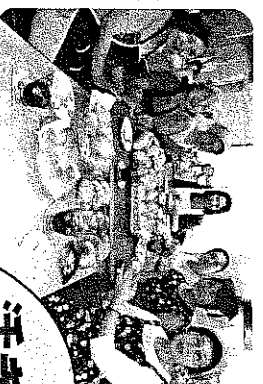
秋晴れの快晴の下、10月21日(日)に「校区体育祭」が行われ、老若男女の声が一斉中、八幡小学校に響きわたりました。今大会はプログラムを見直し、実行委員会体制も一新して、高齢者のみなさんも気軽に出場できる競技種目が増えたのが特徴でした。参加者は約800名でした。

町内会員き宅でパンづくり

(4支部5区)

2支部あいご会、合同で十五夜まつり

4支部5区(和田啓子区長)の「パンづくり講習会」の1コマです。パン菓子づくり教室を開いている婦人部長宅で、めいめいパンの手作りを楽しんでいます。8月8日には、バターブレッドにレーズン、ラム、コーン、チーズなどを入れて8種類つくりました。



9月28日(金)夕方、下荒田二丁目の古田ヶ浜公園で「十五夜まつり」が行われ、子ども・大人合わせて230名が参加しました。まず子どもの男女、子どもと大人に分かれての“綱ひき”でひと汗…ひきつづいて”相撲大会”の熱戦。最後は参加者全員でおはら節で踊りの輪をつくり、本当に楽しい一夜でした。

与次郎2丁目に「保護者会」が誕生!

私の町内会

創立60周年感謝祭ひらく (1支部6区)

高層マンションが立ち並び与次郎二丁目。4つのマンションには町内会がありません。あいご会も個々に会費を払って、振興会の行事などには参加してはいますが、地域としてまとまって行動することはありません。

今回「校区コミュニケーション協議会」結成準備のなかで「与次郎2丁目保護者会」(福倉成美・代表)が生まれました。



御舟手町内会として発足して60年。先人の苦勞をしのび、役員や住民の地域活動に感謝するつどいが11月18日(日)昼、行われました。会場には子供から高齢者まで多くの町民が詰めかけて、食事に舌鼓をうちながら、ゴスperlコーラス、マジックショー、津軽三味線の演奏など楽しみました。最後は豪華な景品が当たる抽選会で盛り上がりしました。



いよいよお年を お迎えください!

この1年、みなさまには地域の活動に各方面から協力いただきました。

本当にありがとうございます。心から御礼申し上げます。

来年もどうぞよろしくお願ひいたします。
いよいよお年をお迎えください。
(執行部一同)

財部さんの案内で校区内史蹟めぐり

—あいご会「歩こう会」に100人—

11月11日(日)午前、あいにくの小雨もよりの天気でしたが、約100人が参加して校区あいご会の「歩こう会」が行われました。江戸時代の塩田跡、坂本竜馬新婚旅行記念碑、薩英戦争砲台跡、異人館跡のコースを1時間30分かけて財部光三さんの説明を聞きながら回りました。

来年には薩摩藩開明の基をつくらせたいといわれる薩英戦争から150年一。次回、健康づくりも兼ねて、子どもたちと一緒に校区内を探検してみませんか?



防災講演会のお知らせ

～桜島噴火活動の現状と地震・津波の可能性～

とき 1月13日(日) 午後1時30分～

ところ 呉婦人会館ホール(下荒田二丁目)

講師 井口正人先生
(京都大学防災研究所火山活動研究センター/京都大学教授)

入賞おめでとう!

第43回ジュニアオリンピック
(10月26日・横浜市)

☆3年女子 100m 4位
天保山中 鶴田 玲美
☆女子400mリレー 5位
鹿兒島県 (鶴田玲美・田中亜希ほか)

振興会だより

あなたの会費でつくられる町の情報紙

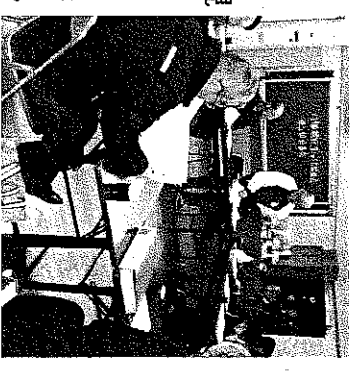
八幡校区振興会
 鹿児島市下荒田四丁目7-11
 会長 和田一雄 編集 総務部
 発行責任者 宮崎健二 TEL&FAX 253-6666

『コミュニティプラン』(まちおこし計画)の策定に向けて 基礎的な作業がつつげられています

昨年10月に発足した八幡校区コミュニティ協議会。平成24年11月から25年3月までの暫定的な事業や予算を組み、これを執行しながら役員会や部会で今後の方向性を模索しつつけています。平成25年度は「コミュニティプラン(まちおこし計画)」を策定することになりますが、現在、そのための専門部会での話し合い、協議のための基礎資

料づくりの段階です。町内会をふくむ各構成団体の年間活動や行事についての調査を実施(回収38団体)、現在そのまとめの作業中です。

この整理を終え次第、コミュニティ協議会で取りくむべき課題や催しをはっきりさせて、プラン(計画)策定の作業に入っていきます。



役員会のような様子 (12月12日)

公民館運営審議会は3月末で廃止

「校区公民館」はこれまでどおり利用できます!

校区コミュニティ協議会の発足で、八幡校区公民館運営審議会は3月末で廃止になります。これまでの事業は、コミュニティ協議会に引き継がれることとなります。

小学校敷地内の「校区公民館」の建物も残り、これまでと変わらず校区のみなさまにご利用いただけます。

なお利用法についてはこれまでどおりカギは学校が管理し、公民館主事の菫蒲谷絹代さんがコミュニティ協議会のスタッフとして従来の事務を行います。

役員等が先進地を視察

—薩摩川内市の2協議会—

平成16年の薩摩川内市合併のとき、48小学校区に「地区コミュニティ協議会」がつけられました。

これらの協議会は、鹿児島市に先行すること8年、いまや各地区の特色を生かして、さまざまな地域づくりがすすんでいます。

八幡校区コミュニティ協議会役員ら12名が市職員3名とともに2月5日(火)、同市の大馬越・峰山西地区協議会を視察、役員の説明を受け、また現地の視察もおこないました。

この研修をつうじて、「八幡校区まちづくり」の将来をどうしていくか?学ぶことの多い視察でした。



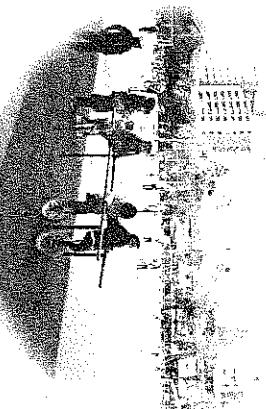
笑顔がつなぐ八幡校区

～「コミュニティ活動のひとコマ」～

校区七草祝い

1月7日(月)八幡小学校体育館でおこない、57人の子どもとその保護者が出席しました。

園児のおゆうぎや、お話マアの会のみなさんのシアターなどで、出席者大喜びのお祝いとなりました。



2月

子ども会 1カレシヨソのつどい

2月9日(土)午前、小学校体育館と校庭で180人の児童が参加して、ドッジボール・バスケットボール・ポーツボール・鬼ごっこ(ケイドロク)などして、会場は喚声かひびきわたりました。最後に、書初展入賞者の表彰式もありました。

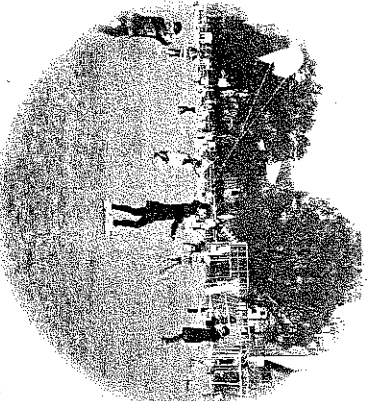
老人クラブ・小学生とのふれあい

2月26日(火)八幡小学校5・6限目を利用して、「ふれあい活動」が校区内6老人クラブから16名が参加。卒業生をとおこし、お話を語り、子どもたちからは熱心な質問や感想が返ってきました。お手紙など、昔ながらのふれあいが好評でした。

1月 新春たこあげ大会

1月8日(火)の始業式の午後、校庭で思いおもしろいたこを作って飛ばしました。104人の児童が参加、たこさんのお母さんがお手伝いされました。

また体育館では書初展出品作品259点の審査を行い、各学年の金・銀・銅賞が選ばれました。



26町内会に『自主防災会』！ 桜島大正爆発100年 自助・近助・共助のまちづくりに一歩



八幡校区防災講演会
京大・井口正人教授の講演風景
＝県婦人会館＝

ことしに入って、校区内の各町内会（区）の「自主防災会」結成が一気にすすみました。

昨年までは結成されている区は6区でしたが、現在では26区（組織率90.1%）、組織されている世帯数は869世帯から2959世帯（組織率91.3%）に、飛躍的に組織化がすすんだことになりました。

ことしは大正3年の桜島大爆発からちょうど100年目。八幡校区振興会は活動の中心に“安心安全なまちづくり”、“防災につよい組織づくり”をおき、理事会、区長・防犯部長らの話し合いを重ねてきました。そうしたなか、1月13日（日）には、京都大学火山活動研究センターの井口正人教授を迎えて『桜島火山活動の現状と地震津波の可能性』と題した防災講演会を100人以上の出席で成功させました。

今後は、新年度早々に「自主防災会校区連絡会」（仮称）を発足させて、校区単位での防災講演会や防災訓練を実施していくこととなります。

『校区社協』が分離独立へ！

昭和44年（1969）の設立から、八幡校区社会福祉協議会（「校区社協」）は八幡校区振興会の組織と“一体”になって活動をすすめてきました。

しかし今日、福祉施設や関係の団体もふえて、八幡校区振興会社会福祉部だけで運営することに限界がきていました。

3月19日（火）夜、独自の総会を初めてひらき会則を定め、単独の事業計画や予算を決めて、再発足をします。



総会のための準備会
（2月21日）

AED使用法を学ぶ！

～『救命救急講習会』～

3月5日（火）午後、公民館で初の「救命救急講習会」（環境衛生部主催）がひらかれ25人が参加しました。

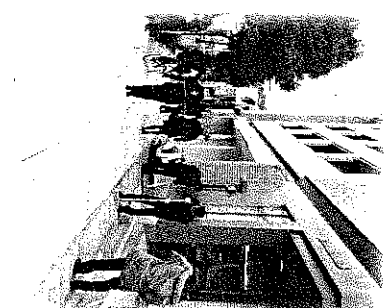
今回は昨年1月に改定された「ガイドライン」にもとづいた講習会で、AEDの使用法も学びました。

とっさの事故や非常事態の際の応急処置の大切さを知らされた、有意義な催しでした。



そうしん・荒田支店

～毎日始業前にひと汗

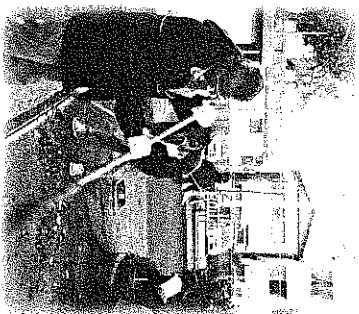


月曜から金曜日までの週5日、始業前に支店長以下全職員が周辺の道路清掃を行っています。職員の話では「覚えがないほど永年つづいている」ボランティア活動とか...

南日本電設

～毎月近くの公園清掃

下荒田二丁目に本社をおく南日本電設（株）の社員が毎月最終金曜日の早朝、近くの古田ヶ浜公園を清掃しています。毎回十人以上が参加、地域の人に喜ばれています。



訃報

1支部2区長

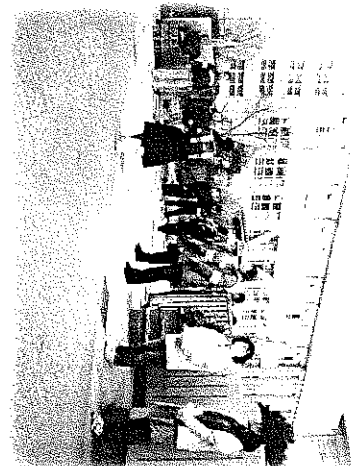
矢崎晃さん ご逝去



1支部2区長（東二中通り町内会）で、元1支部長・前東西幹線対策協議会長の矢崎晃さんが12月20日ご逝去されました（享年89歳）。ご冥福をお祈りいたします。

正式な名称は『天保山中学校ニコニコおじさんおばさんの会』で、メンバーは15人。毎月ニコニコの25日朝7時から正門に立ち、登校前の生徒に声をかけています。お揃いの腕章をつけた姿で12年間つづけている“あいさつ運動”。バザーのときはお寿司を販売し、益金をPTAに全額寄付しています。

10年以上、毎月正門に



校区内のボランティア活動の3例を紹介いたします。共通しているのは、力まず、さわやかに“チヨボラ”していることです。

チヨボラ
チヨボラ